

対モロッコ王国 事業展開計画

2021年 4月 現在

基本方針 (大目標)	質の高い成長の促進及び中東・アフリカ地域の安定化への貢献
---------------	------------------------------

重点分野 1 (中目標)	経済競争力の強化													
開発課題 1-1 (小目標) 農水産業	【現状と課題】 農水産業はモロッコ国内の就労人口の約4割を占めており、国内における雇用の重要な受け入れ先となっているもののGDPに占める割合は約13%(2018年)と就業人口の占める割合に比較して低いことから、同セクターの付加価値・生産性の向上を通じた成長が課題であり、農水産業の競争力強化を図る必要がある。また、高い失業率も課題となっているが、農水産業は雇用吸収力が高く、同分野への支援は失業率の改善にも資する。					【開発課題への対応方針】 モロッコ政府が注力する農水産業については、高付加価値化や品質・生産性向上を通じた競争力強化のための支援を行う。産業振興に資する投資環境整備を通じた雇用創出や産業多角化等を促進する。								
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考	
					2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度				
		農水産業振興 プログラム 雇用吸収力の高い農水産業の競争力強化を通じた雇用創出や産業多角化等を促進する。	海洋・漁業調査船建設計画	有償							53.71	9,14		
			ブルーグロース型養殖開発プロジェクト	技プロ		■	■	■	■	■		3.00	2,14	
			貝類養殖技術研究センター建設計画	無償		■						12.00	2,9,14	
			節水灌漑システム普及	個別研修		■	■	■					2,13	
			水産業振興	個別専門家		■	■						2,14	
			養殖振興	個別専門家		■	■						2,14	
			エビデンスに基づく乾燥地生物資源シーズ開発による新産業育成研究	科学技術		■	■	■				4.10	2,13,15	
			高度冷蔵保存技術導入による水産品の高度付加価値化に向けた普及・実証事業	普及・実証・ビジネス 化事業		■	■						9	
			女性の雇用創出のためのアルガンオイル生産・販売ビジネス(SDGsビジネス)調査	SDGs調査		■	■						2,8,15	
	食料安全保障のための農学ネットワーク(Agri-Net)		長期研修			■	■	■				2		
	水産業に関する課題別研修	課題別研修		■	■						14			

開発課題2-2 (小目標) 水・環境	【現状と課題】 モロッコにおいては、経済成長に伴って水資源に対する需要が増加している一方、降雨量の変動幅が大きいため、限られた水資源の有効利用が不可欠である。さらに、今後の持続的成長のためには、気候変動や経済発展に伴う環境への負荷に配慮した成長を実現することが求められている。			【開発課題への対応方針】 気候変動や経済発展に伴う環境負荷に対応する強靱な社会インフラ整備と体制・管理能力の強化を支援することにより、持続的な成長に寄与する。											
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
	水・環境 プログラム	気候変動や経済発展に伴う環境負荷に対応する強靱な社会インフラ整備と体制・管理能力の強化を図る。	フェズ・メクネス地域上水道整備計画	有償								174.40	6,9		
			下水道整備計画(Ⅲ)	有償								107.90	6,9		
			水資源・環境管理・防災に関する課題別研修	課題別研修他										6,11,13,15	
			地方中核都市の国公立病院に対する医療廃棄物用無煙焼却炉の導入に関する普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業										3	
			油温減圧式乾燥機の導入によるオリーブ搾油粕の資源化のための普及・実証事業	普及・実証・ビジネス化事業										2,15	
PM2.5自動成分分析装置および大気モニタリングシステム導入のための普及・実証・ビジネス化事業			普及・実証・ビジネス化事業										3,15		
開発課題2-3 (小目標) 基礎教育	【現状と課題】 1990年代から2000年代にかけ、モロッコの基礎教育セクター（初等・前期中等）では就学率が改善し、特に初等に関しては9割以上の子どもがアクセスできるようになった一方で、学習到達度が低いといった教育の質に課題がある。また、前期中等教育においては依然として地域間・ジェンダー間のアクセスに課題がある。			【開発課題への対応方針】 地方部への基礎教育の拡充や質の改善などへの支援を行っていくことにより、社会・地域格差是正に寄与する。											
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考		
	基礎教育の アクセス ・質向上 プログラム	基礎教育のアクセス（後期初等教育等）及び質の改善を図る。	基礎教育セクター支援計画	有償								88.99	4		
			算数教育における児童の基礎学力を保障する学校教材の普及・実証・ビジネス化事業	普及・実証・ビジネス化事業									4		
			公平な教育振興プロジェクトフェーズ2	技プロ										4	
			教育分野に関する課題別研修	課題別研修他										4	
教育分野のJICA海外協力隊			JOCV										4		

重点分野3 (中目標)	南南協力の促進												
開発課題3-1 (小目標) アフリカ支援	【現状と課題】 モロッコは従来からアフリカ諸国との関係強化を外交上重視しており、南南協力の実施に注力している。日本はこれまでモロッコに対する支援のうちその成果が顕著である分野を中心として、第三国研修など三角協力を実施しこれに貢献している。今後一層需要が増えると考えられる南南協力への支援をサブサハラ・アフリカ諸国の研修ニーズをふまえて充実させていくことが求められている。					【開発課題への対応方針】 モロッコ政府自らが推進している南南協力の促進を、我が国によるこれまでの協力実績をふまえた三角協力の実施を通じて支援することで、モロッコ側実施機関の能力を一層強化するとともに、アフリカ諸国を中心とする国々の経済社会開発に貢献する。							
	協力プログラム名	協力プログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	SDGs	備考
	アフリカ支援プログラム	モロッコに対するこれまでの協力成果を活用しつつ、対象国(アフリカ諸国)のニーズにより的確に応えるために、より戦略的な三角協力案件を形成・実施する。	アフリカ交通人材育成プロジェクト	技プロ	2020 年度 以前	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	5.97	9,11	

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「基礎情報調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」(=個別機材)、「国別研修」(=課題別研修他) (=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=JICA海外協力隊)、「第三国専門家」(=第三国研修)、「現地国内研修」(=科学技術) (=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「SDGs調査」(=途上国の課題解決型ビジネス(SDGsビジネス)調査)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力はスキーム)、「基礎調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「基礎調査」)、「案件化調査」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「案件化調査」)、「普及・実証・ビジネス化事業」(=中小企業・SDGsビジネス支援事業「普及・実証・ビジネス化事業」)、「実証」(=実施期間)、「破線」(=実施予定期間) ※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。

【SDGsゴールの説明】1「貧困」、2「飢餓」、3「保健」、4「教育」、5「ジェンダー」、6「水・衛生」、7「エネルギー」、8「経済成長と雇用」、9「インフラ、産業化、イノベーション」、10「不平等」、11「持続可能な都市」、12「持続可能な消費と生産」、13「気候変動」、14「海洋資源」、15「陸上資源」、16「平和」、17「実施手段」

【SDGsの詳細】 https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/pdf/SDGs_pamphlet.pdf